令和元年度第１回千葉市若葉区公民館運営審議会 議事録

１　日　時　令和元年７月３日（水）１４時００分～１６時１５分

２　場　所　千城台公民館　セミナー室

３　出席者　委員１３人中９人

内山英昭委員長、大澤見子副委員長、小池拓委員、松島説子委員、横田美矢子委員、
髙橋武勇委員、糸日谷美奈子委員、但田禮子委員、近藤ワコ委員
（欠席：江﨑正治委員、中島輝夫委員、浅子聡委員、市原直樹委員）

事務局
千葉市教育委員会事務局４人
中島千恵課長（生涯学習振興課）、君塚常行担当課長（生涯学習振興課）
柴崎まつ子主査（生涯学習振興課）、久保木智子主任主事（生涯学習振興課）
千葉市教育振興財団（若葉区公民館）９人
山田芳久館長（千城台公民館）、田中隆館長（更科公民館）、
山形国夫館長（白井公民館）、角田昌宏館長（加曽利公民館）、
佐久間朗館長（大宮公民館）、立石憲吾館長（みつわ台公民館）、
大木操館長（若松公民館）、小川純一館長（桜木公民館）
廣森滋副館長（千城台公民館）

４　議　事

（１）報告事項

ア　平成３０年度若葉区公民館利用状況等について

イ　平成３０年度若葉区公民館事業報告について

ウ　令和元年度若葉区公民館事業計画について

（２）協議事項

ア　令和２年度若葉区公民館の事業計画について

イ　公民館の利用促進について

（３）その他

ア　更科公民館を会場とした放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業の実施について

５　議事概要

（１）報告事項

ア　平成３０年度若葉区公民館利用状況等について、事務局より報告した。

イ　平成３０年度若葉区公民館事業報告について、事務局より報告した。

ウ　令和元年度若葉区公民館事業計画について、事務局より報告した。

（２）協議事項

ア　令和２年度若葉区公民館の事業計画について、協議した。

イ　公民館の利用促進について、協議した。

（３）その他

ア　更科公民館を会場とした放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業の実施について、事務局より報告した。

６　会議経過

・　開会

・　新任委員の挨拶（小池拓委員）並びに紹介（中島輝夫委員）

・　若葉区公民館運営審議会委員長挨拶

・　生涯学習振興課長挨拶

・　議事

（１）　報告事項

ア　平成３０年度若葉区公民館の利用状況について

会議資料に沿って、平成３０年度の若葉区全体の利用状況、利用人数、利用回数等について事務局が説明する。また、若葉区公民館図書室の整備状況、貸出状況等についても説明する。

内山委員長：質問、意見を求める。

小池委員：図書室の書籍について、購入が増えていますが、市全体として取り組んでおられるのか、各館で対応されているのか、どちらでしょうか。

山田館長（千城台公民館）：市全体の取り組みに沿うよう、千葉市教育振興財団が予算を組んでいます。

糸日谷委員：年度別推移グラフをみますと、みつわ台公民館の利用者数が平成２７年度に比べて、増えているように思います。地域からの評判も大変良いと聞いています。公民館として何か工夫されているのでしょうか。

立石館長（みつわ台公民館）：一昨年度は都賀コミュニティセンターが休館していた影響で利用者数が多かったために、一昨年度から昨年度にかけては利用者数が減少してしまいましたが、全体的には増加していると思います。公民館としては、主催事業を増やす取り組みをしています。また、主催事業に参加された方をサークル活動につなぐなどして、公民館の活性化を図っております。

イ　平成３０年度若葉区公民館事業報告について

会議資料に沿って、平成３０年度の若葉区事業報告及び若葉区各公民館の事業報告について、千城台公民館から桜木公民館まで順次説明する。

内山委員長：質問、意見を求める。

内山委員長：私の方から１点質問させていただきます。事業報告の応募率の欄をみますと、30%や40%の講座があるようですが、こういったあまり人気のない講座は、令和元年度の事業計画ではどのように対応されているのでしょうか。

山田館長（千城台公民館）：応募率が低い講座を新しい講座に置き換えるというのもひとつの方法ですが、だからといってこれらの講座が不要とは言いきれません。他館での同様な講座の様子や応募率なども参考にして、次年度どうするのかということを検討しています。

内山委員長：応募数の少ない講座については、募集方法を変えるとかされていますか。

山田館長：募集の受付日を平日から休日にするなどの対応をしていこうと考えております。

田中館長（更科公民館）：人気のある講座ですと、働いている方が申し込めないので、金曜日にチラシを配布して土日に受付をするというケースもあります。また、人気のない講座では市政だよりに掲載するなど、周知方法の工夫をしております。

但田委員：桜木公民館で高齢者向けスマホ教室がありますが、新しいスマホですとなかなか使い切りません。こういった講座がありますと大変助かります。

小川館長（桜木公民館）：スマホ教室は反響が大きかった事業です。スマホの使い方がよくわからない、宝の持ちぐされになっているという受講者の方が多く、今年度も引き続き開催させていただきます。

近藤委員：各公民館で、地域や年齢層に合わせた講座を数多く考えてくださってありがとうございます。今年は千葉市の小学校の夏休みが早いと聞いております。小学生の公民館の利用が多いのではないかと期待しています。職員の皆様、ご苦労されると思いますが、よろしくお願いします。

ウ　令和元年度若葉区公民館事業計画について

会議資料に沿って、若葉区事業計画及び若葉区各公民館の事業計画について、千城台公民館から桜木公民館まで順次説明する。

内山委員長：質問、意見を求める。

糸日谷委員：前回の運営審議会で、防災について取り組んでほしいという要望をさせていただきました。今年度、千城台公民館、みつわ台公民館の講座で取り入れていただき、ありがとう

ございます。質問が２点ほどあります。１つ目は、加曽利公民館で防災講座を開催されますが、講師はどのような団体の方がされるのでしょうか。２つ目は、災害が発生した時に学校や公民館が避難所になりますが、千葉市の防災マニュアルはどうなっているのでしょうか。

角田館長（加曽利公民館）：講師は現在検討中です。

糸日谷委員：私は東日本大震災の際に、岩手県の釜石市で避難所体験があります。その時の体験談等であれば、お手伝いできると思います。

中島課長（生涯学習振興課）：防災マニュアルについては千葉市の防災対策課、危機管理課というところで対応しております。公民館をはじめとする地区の施設が避難所となったときには、各地区の避難所運営委員会が運営にあたります。

柴崎主査（生涯学習振興課）：７月中に指定管理者の方で、公民館職員を対象として、公民館が避難所になった場合を想定した研修を実施する予定です。また、８月２５日に参集訓練等の全市的な防災訓練が開催され、各公民館も会場となります。

（２）協議事項

ア　令和２年度若葉区公民館の事業計画について

イ　公民館の利用促進について

内山委員長：協議時間が押していることから、一括して意見を求める。

小池委員：私が所属する退職校長会でも、生きがいのために、いろいろな講座に取り組んでいますが、いつも講師を誰にするかで悩んでいます。公民館では、情報を広く集め、民間の講師にも幅を広げて選んでいただければと思います。また、関心のある講座であれば、どんなに遠くであっても参加しますので、多様な講座を幅広く計画してほしいと思います。

内山委員長：私の方からお聞きします。若葉区の公民館では利用者が減少しているようですが、千葉市の他区でも同じですか。

柴崎主査（生涯学習振興課）：他区の公民館でも同様に減少で悩んでおります。

内山委員長：これに対して、他区の運営審議会で何か良い案は出されましたか。

柴崎主査：どこの区も同じで、苦心しています。特効薬がありません。

内山委員長：この問題はみんなで考えていかなければならない問題だと思います。

（３）報告事項

ア　更科公民館を会場とした放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業の実施について

君塚担当課長（生涯学習振興課）より、来年度から更科公民館で実施予定の放課後子ども教室と子どもルームを一体化したアフタースクールについての事業説明を行う。

・放課後子ども教室、子どもルームの違い
・これまでの経緯
・一体型のアフタースクールについて
・更科公民館での運営について

内山委員長：質問、意見を求める。

但田委員：今後、千葉市の子どもルームはすべてこういう形に移行していくのでしょうか。

君塚担当課長：この事業を進めていく背景としては、子どもルームに入れない待機児童の問題と受け入れ側の人材不足がございます。一体型のアフタースクールについては、３年後まで毎年６校ずつ計１８校を移行していく予定です。その後も、受け入れ条件が整っている学校については移行していく予定です。ただし、学校に余裕教室があることが前提条件となりますので、現状４０校くらいまでは移行が可能と考えております。

但田委員：これまでの子どもルームも継続するとなると、先ほどの説明にありましたようにアフタースクールと子どもルームで利用料金に格差ができてしまいますが。

君塚担当課長：どうしても利用料金に差は出てしまいます。

但田委員：今ある子どもルームの場所にアフタースクールが入ってくるのではなく、別の場所に設置されるということでしょうか。

君塚担当課長：モデルケースとして実施している学校では、既存の子どもルームが利用している部屋にプラスする形で部屋をお借りして実施しております。ただ、アフタースクールに移行した学校では、既存の子どもルームはなくなります。

内山委員長：アフタースクールに移行する必要があるのですか。

君塚担当課長：子どもルームは就労家庭の子どものみが対象ですが、アフタースクールは就労家庭以外の子どもも対象として、子どもの居場所づくりをしています。

大澤委員：更科以外の学校でもアフタースクールを実施するのですか。

君塚担当課長：更科では、公民館を使いますが、通常は余裕教室を使いますので、余裕教室がある４０校前後ならば移行可能ですが、それ以外の学校では難しいと考えています。

大澤委員：近隣の小学校が近く統合されますが、アフタースクールを導入する可能性はありますか。

君塚担当課長：統合後に教室に余裕があれば、導入の可能性はあります。

内山委員長：以上で本日の議題の審議を終了いたします。事務局に進行をお返しします。

柴崎主査（生涯学習振興課）：閉会にあたりまして、本日の議事録は事務局で作成しますが、最終的な確認につきましては委員長に一任していただきたいと思います。

一同：異議なし

・閉会

問い合わせ先
千葉市教育委員会生涯学習振興課
TEL　043-245-5954